

1 本時の展開 (12/12)

目標	水を大切に使うていくという意識の変化に着目して、節水の取組が進められていることを捉え、水を安定的に供給できる仕組みや取組と関連付け、これから水をどのように使っていけばよいか自分たちにできることを考え、表現する。【思考力・判断力・表現力等】		
本時について	本時まで、水の循環や地球環境のことを考えて、水を大切にすることが必要であることは学んでいる。しかし、児童の生活の行動を見てみると、漠然と知っているだけで水を大切にしている様子はあまり見られない。単元の終末において、「水を大切にしたり、節水したりするには今以上の取組が必要か」について考える場面を設定することにより、取組の意味や限りある資源を大切にすることは価値があるものだと再認識できるようにし、理想論ではなく、現実的に行動する意欲を高め、これからも考え続けられるようにしたい。		
〔学習活動〕 □… 指定される子供の姿	〔子供の意識の流れ〕 (□ は本時のめあて)		〔支援〕 ◎…本研究に向けた支援 ○…資質・能力に向けた支援 ■…子供の感情を引き出せるであろう資料
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。⑤ 水を大切に使う必要性に疑問を持ち、問題を発見する姿 A-(イ)	水は浄水場できれいにされて、いつでも使えるようにしていたよ。 水道の使用量は減っているよ。人口が減ったからだけでなく、節水する意識が高まっているからだね。 たくさん使っていたから今は節水しているよ。 きれいな水がいつでも使えるのに、なんのために節水しているのだろう。		◎○振り返りを提示し「いつでもきれいな水が使いたい量だけ使えるのか」と問うことにより、漠然とした節水の意識を自覚化して本時のめあてをつかむことができるようにする。 ■水循環に関する世論調査 ■節水トイレ ■振り返り
2 水を大切に使うことについて自分の考えをつくる。⑩	水を大切にしたり、節水したりするには今以上の取組は必要だろうか。 一日に使う量がすごく多かったし、きれいな水をつくるのにも送るのにもお金がかかっているから必要だ。 いろいろな人が協力してきれいな水が届く仕組みができていてからそれをこれからも続けていきたいな。 災害がおきるなど、水が届かない状況にならないように工夫がされていたから、もっとできそう。		○水の供給に関わる工夫や努力、手間や時間などを振り返ったり、前時までの関心の高い資料を再提示したりすることにより、学んだことを根拠にして考えをつくることができるようにする。
3 水を大切に使う必要性について話し合う。⑮ 水を大切に使う必要性を今までに学習したことを根拠に話し合う姿 B-(ウ)	水道や下水の設備がない国もあり、病気になる人が増えているから必要だよ。 安全安心な水がいつでも手に入るのは当たり前ではないから、節水は必要だよ。 今、世界では、干ばつがおきたりして、水不足になっているから必要だよ。 使った水はまたもどってくるのがわかったから、環境のことを考えると今以上に水を大切にすることで意識を高める必要があるよ。 地球上の水の内、人間が使える0.01%をみんなで分け合って使っているから、このままではいつか無くなってしまうよ。 自分たちだけがよければいいという考えだといつかは使える水がなくなってしまうから、これからのことを考えて節水をしているんだね。		◎○「今以上の取組は必要か」と問い直すことにより、水を大切にすることが必要であることを現在の状況と安定的な供給の仕組みを関連付けて考え、取組の意味や資源としての水の大切さを世界規模の未来志向で価値あるものだと捉えることができるようにする。
4 水を大切に使う取組の実現可能性について考える。⑮ 限りある資源として水を大切に使うために自分たちのできることを考える姿 A-(ウ)	あまり意識していなかったけど、それは自分たちの事だけしか考えてなかったということだった。 自分たちもすぐに協力しないといけない。できることは何があるだろう。 家ではお風呂の残り湯を洗濯に使うように家の人に進めてみるよ。 雨水をバケツにためて、花や畑の水やりをすることはすぐできるよ。 他の学年の人や家族に水の大切さを伝えて、みんなに協力してもらいたいな。 自分たちにできることは限界があるけど、使う意味を考えてこれから水を大切にしていきたいな。		◎○アンケート結果や水使用場面の写真を提示して生活を振り返ったり、節水・再利用・再生の観点で取組を分けたりすることにより、現実的に行動しようとする意識を高めることができるようにする。 ■児童の水に対する意識アンケート ■水を使用する児童の写真 ■節水アクションヒント集